

拠点形成研究交流報告：神戸大学 食の安全・安心科学研究センター (国内協力機関) 大澤 朗 教授 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室 西山 啓太 先生 による大学院特別講義

神戸大学 食の安全・安心科学研究センターの大澤 朗 教授と慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室の西山 啓太 先生の両先生がご来学(12月21日)され、大澤先生には大学院特別講義を行っていただきました。また、セミナーでは、大澤先生に「食品成分の機能性評価で考慮すべきヒトとネズミの相違点」について、西山先生に「腸内細菌の消化管定着機構」について貴重なお話を頂きました。

大澤先生は、食品の腸内細菌を介する生理機能性を評価することが可能な「Kobe University Human Intestinal Model(KUHIM)」と命名されたヒト腸管モデルを開発しました。本評価系は、海外のモデルに比べ腸内環境の再現度が高いモデルとして注目され、食品の生理機能性に関する動物実験に代わる評価ツールとして大いに期待されています。現在、CFAI畜産免疫ユニットでは、大澤先生との共同で、本評価系を基礎とした多種腸内細菌モデルへの応用を推進しており、今後の益々の発展が大いに期待されます。

今回の講義では、人や動物における腸内細菌の最新の知見や、食品への応用にスポットを当てた自分達の研究に深く関わるお話を聞くことができ大変勉強になりました。大澤先生、西山先生に改めて感謝申し上げます。

講義風景



セミナー風景



集合写真

